

グラナダのバル

田中 絢介

スペインではバルが有名です。バルは Bar と書き、いわゆるバーのことですがスペインの場合、お酒を飲むところだけというわけではありません。朝はコーヒー、昼はランチ、夜はお酒が楽しめるカフェと居酒屋が一緒になったような場所であり、気軽に立ち寄ることができるスペイン人の社交の場ともなっているのです。グラナダという町にはバルが集まった通りがあり、私たちも行ってきました。



お金節約のために自炊して、パスタばかり食べていた私たちもこの日はスペインのおいしい料理を食べようと、バルの集まる通りを意気揚々と歩きました。通りを歩くと、店員さんたちがメニューを見せながら声をかけてきます。東南アジアとは違って上品な客引きでした。どのバルも良さそうに見えたので、もはや直感で、一軒のバルに入りました。

まず、飲み物を注文。私はアルハンブラビールを頼みました。ちょっとすると飲み物と一緒にタパスが運ばれてきました。タパスとはスペインの小皿料理で、何が出てくるのかは店によって違います。さらにグラナダでは、このタパスが無料についてくるのです。そして、おいしそうなるスペイン料理の写真が並んだメニューを見ながら食べ物を注文。タパスをつまみながらビールを飲んでいると、肉料理や海鮮料理、スペイン名物のパエリアと次々に運ばれてきました。肉は口に入れた瞬間とろけるような柔らかさ、イカや魚のサクサクのフライ、エビやムール貝が乗った見た目も味もおいしいパエリア。そして何より店員さんがみんな笑顔で楽しそうに働いていました。いい雰囲気、おいしい料理と大満足でした。

次の日も夕飯を食べた後、何か物足りないなあということでバルに行き、スペインの果実酒であるサングリアと無料タパスを食べました。こういった、ふらっと立ち寄ってお酒を飲める感じがいいですね。今度行く時があったら、バルをはしごしていろいろなお酒とタパスを食べたいと思います。

